社会福祉法人 父の樹会 広報

法人 父の樹

第 27 号　2022 年　6 月

発行／社会福祉法人父の樹会
〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町 321-2
TEL：043-250-5992　FAX：043-250-5982

特集 福祉職の魅力を語る！

～若手・中堅職員による座談会～

新型コロナウィルス感染症も３年目に入りましたが、未だ終息の見通しは立っておりません。そうした中で、障害者支援に関わる私たち支援者は、感染症対策に万全を期し、日々の業務に真摯に取り組み、利用者さんの充実した活動や安定した生活に向けて、支援者が一丸となって努めています。

今回は、私たちの仕事は一般的には必ずしも社会の認知度が高くないことから「福祉職の魅力を語る！」をテーマに、当法人の若手・中堅職員による座談会を企画しました。この２年余りは職員間の親睦会も開催できず、感染対策上マスクを着用していることから、職員間でも顔と名前が一致しないこともしばしばです。そこで、座談会を通じ、入職の動機や障害福祉のやりがいについて語り合い、また、当法人の歴史について一人ひとりが認識を深めるとともに、今後の目標や働き方について意見交換を重ね、福祉職を目指している学生さんをはじめ、一人でも多くの皆さんへ福祉職の魅力を伝えたいと思います。

出席者

長沢 裕太　（あけぼの園 生活介護：入職３年目　植草短大 卒業）
尾竹 加菜　（あけぼの園 生活介護：入職１２年目　千葉明徳短大 卒業）
圓城寺 慎　（父の樹園 就労継続支援Ｂ型：入職３年目　千葉商科大 卒業）
畔蒜 里奈　（ガーデンセブン 施設入所支援：入職４年目　植草短大 卒業）
荒巻 敬輔　（おおぞら園 就労継続支援Ｂ型：入職５年目　千葉敬愛短大 卒業）
岡本 美紀　（グループホーム父の樹 共同生活援助：入職７年目　植草短大 卒業）

司　会　鈴木 貴彦　（父の樹園 管理者）

自己紹介

鈴木　司会は私が務めますが、本日は当法人の５つの事業所から６名の方々に出席いただきました。

さて、新型コロナウィルス感染症については終息が見通せず、非常に困難な社会状況にあります。その中で、障害を抱えた利用者さんへの支援に、熱意を持ってその先頭に立って頑張る若手・中堅職員の皆さんの思いを伺いたいと思います。

長沢　長沢　裕太（ながさわ　ゆうた）です。植草短大を卒業して今年で入職３年目になります。私は一人旅が好きで、これまで出掛けた所で一番のお気に入りは北海道です。とても緊張していますが、今日は宜しくお願いします。

岡本　岡本　美紀（おかもと　みき）です。植草短大を卒業して入職し７年目になります。最初は入所施設のガーデンセブン勤務となり、今はグループホームの運営スタッフとして働いてます。実はわたし、お酒が大好きなんです！（一同爆笑）。 コロナが収まったらみんなで飲み会をやりましょう！

荒巻　荒巻　敬輔（あらまき　けいすけ）です。岡本さんの次で、何か面白いことをいわないといけないようですが、実は偏食がありまして、僕が好きなのはパンとグミで、特にハードグミが大好きです。千葉敬愛短大を卒業して今年５年目になります。

畔蒜　畔蒜　里奈（あびる　りな）です。私はビールが大好きです！　植草短大を卒業して入職して４年目となりました。長沢さんは同じ短大の１年後輩になりますが、面識は全くなく今日が初めてです（笑）。

圓城寺　圓城寺　慎（えんじょうじ　まこと）です。私は千葉商科大学を卒業し、入職３年目になります。皆さんと違って学校で福祉について学んだわけではなく、小学校から大学まで野球一筋でやってきましたので、本来でしたら今頃はプロ野球の選手として活躍している予定でした！（笑）。しかし、縁があって父の樹園にお世話になっています。実は私はお酒が全く飲めませんので、飲み会ではもっぱらジュースです！（笑）。

尾竹　尾竹　加菜（おたけ　かな）です。千葉明徳短大を卒業して、今年で入職 12 年目になります。中堅職員のど真ん中になりますが、改めて振り返るとあっという間だったと感じています。学生時代からずっとバトミントンを続け、入職してからも疲労骨折するほど力を入れてきたのですが、実は最近ゴルフとテニスを始め、早くゴルフコースに出られるよう頑張っています。

入職の動機

鈴木　場が和んだところで皆さんの入職の動機について教えてください。

岡本　私は短大に進学した時は、保育士を目指していましたが、学びを深める中で障害児保育に興味を持ち、在学中に障害者施設での実習や移動支援サービスのアルバイトをするうちに障害者施設で働きたい気持ちが強くなりました。そこでゼミの先生に相談したところ、父の樹会

のガーデンセブンを勧めていただきました。実際に見学に行ってみると、利用者さんが笑顔で楽しそうに生活されていたことや、職員さんが明るく働いている姿がとても印象に残りました。特に入所施設は通所施設と違って、一日を通して支援できることが良い経験になると思い、入職を希望しました。ガーデンセブンでは 3 年間勤務し、その後はグループホーム父の樹への異動を希望しました。いろんな経験をしたかったことも理由の一つですが、何よりもグループホームは少人数の家庭的な環境であり、もっと利用者さん一人ひとりの気持ちに寄り添った支援ができるのではないかと考えたからです。

荒巻　私は短大で学ぶ中で、実際に就職を考える時期になり、先生に相談したところ、今、働いている「おおぞら園」の見学を勧められました。そこで実際に見学してみると、施設の目指す目標の高さや利用者さんや職員さんの温かい雰囲気に、自分も一緒に働きたいと強く感じたのがきっかけです。後で分かったことですが、短大の先生と入職時の上司が同じ大学の先輩後輩という間柄であることを聞かされ、何か強い縁を感じています。

畔蒜　私は、短大に進学した当初は、絶対に幼稚園の先生になりたい！という気持ちが強かったのですが、障害福祉について学ぶ中で段々と興味を持つようになりました。実際に今の職場に見学に行かせていただくと、職員さんがとても明るく、利用者さんをみんなで支えるチームワークの良さを感じたことが一番の決め手で、自分もその一員になりたいと思いました。

圓城寺　私は大学では福祉とは違うことを学んできましたが、身内に障害のある親戚がいることや、高校・大学の野球部の先輩が父の樹園で働いていて誘っていただいたのが入職のきっかけです。

長沢　学生時代に施設実習やボランティア活動を通して障害のある方と関わり、自分の中でもっと深く関わってみたいと思いました。そして、在学中にあけぼの園でアルバイトとして働かせていただき、職員の皆さんが利用者さんと関わる様子から自分も一緒に働いてみたいと思ったことが理由です。

尾竹　短大で学んでいく中で障害者福祉に興味を持ち、7 か所ほどいろんな施設に見学へ行かせていただきました。すると、どこの施設の利用者さんもニコニコ笑っていて、私もその笑顔につながるサポートを仕事としてやってみたいと思うようになりました。見学をした施設の一つに、閑静な住宅地にあって、閉鎖的でなく、利用者さんの可能性を信じて諦めずに取り組む、ある一人の職員と話す機会をいただき、ぜひ一緒に働いてみたいと思った施設が、今、お世話になっているあけぼの園です。

＜あけぼの園＞

日常の業務

鈴木　皆さんそれぞれに動機は異なりますが、学校の先生への相談や実習経験、さらに施設見学を通じて入職されたわけですが、皆さんの行動力に驚かされました。次は、現在、担当している業務について教えていただけますか。

畔蒜　入所施設ですので、1 日 24 時間をシフト勤務で利用者さんの生活支援を行っています。日中は「作業活動」では手工芸班、「余暇活動」では音楽サークルを担当しています。皆さんコツコツと作業に取り組まれ、サークルではカラオケやダンスなどを楽しむ笑顔を見られることが何よりも嬉しいと感じています。

長沢　日中活動は「園芸科」を担当し、利用者さんと一緒に野菜を育てています。雨天の時に

は「下請け作業」を行っています。毎日の活動の中で、利用者の頑張りに逆に私自身が力をもらうことが多いです。「委員会活動」では給食委員を担当しており、利用者さんが楽しみにしている給食について、できる限り人気メニューを取り入れるようにするとともに、感染症対策にもしっかり取り組んでいます。

岡本　今年度からグループホームの「サービス管理責任者」になりました。生活支援員として現場の勤務に加えて、利用者さんやご家族からの相談窓口、関係機関との連携、さらに個別支援計画の作成や世話人さんの勤務調整等を担当しています。まだまだ至らない点が多く頼りない私ですが、上司や同僚に励まされ、楽しく勤務することができています。

圓城寺　生産活動では主に「施設外作業」を担当しています。広告チラシのポスティングをはじめ、農場での農作業全般、さらに建築現場の養生マットのリサイクル作業に利用者さんと一緒に取り組んでいます。支援は一人で数名を担当することがほとんどなので、父の樹園建物内とは違って利用者さんの事故や怪我につながらないように緊張感を持って取り組んでいます。

＜父の樹園＞

荒巻　「下請け作業科」に所属しており、利用者さんと種々の作業に取り組んでいます。特に、発売前のキャラクター品の場合は守秘義務がありますので、利用者さんにどのように伝えていくか苦労する時もあります。

尾竹　私は、下請け作業科で利用者さんの「生活支援」を担当しています。最近は、「相談支援事業」で利用者さんのサービス等利用計画をを少しずつ担当するようになりました。様々なサービスがあることや関係機関と連携することで、利用者さんの生活の向上につながっていることを理解し、改めて自分の仕事に責任の重さを実感しているところです。

障害者支援上で最も大切にしていること

鈴木　事業所ごとにサービス種別は違いますが、日々、利用者さんと一緒に活動し、生活をする様子や、キャリアを積む中で徐々に責任も増えてきている様子がよく伝わってきました。次は、利用者さんと関わる中で、最も大切にしていることを教えてください。

長沢　私はまだ経験は浅いのですが、「相手の気持ちを理解すること」を大切にしています。働き始めた頃は、言葉のやり取りで相手の気持ちは理解しやすいと思いましたが、一方で、言葉の少ない利用者さんとの意思疎通は難しさを感じていました。今は少しずつですが、表情や行動を見ることで相手の気持ちが理解できるようになってきました。

荒巻　利用者さんとは「同じ目標に立って一緒に取り組む同士」であることを意識しています。どうしても利用者と支援者という関係性では、上下関係として感じたり捉えてしまうことがあります。適切な言葉かどうか自信はないのですが、利用者さんを「仲間」として関わることを大切にしています。

畔蒜　一番大切にしていることは「相手の気持ちを汲み取る努力を忘れないこと」です。特に、表面だけの情報で判断をせずに、気持ちや感情を相手の立場になって考えるようにしています。

圓城寺　利用者さんが主体になって、笑って、楽しそうに活動していることが理想だと思います。そのためには「信頼関係」が大切ではないかと日々感じています。利用者さんだけではなく、一番の理解者である保護者との関係性も重要に思います。

岡本　利用者さん一人ひとりの気持ちや声に耳を傾け、「尊重できる」ように心掛けています。グループホームでは親元を離れて自立した生活ができるようにアットホームな環境を目指しています。しかし、利用者さんは性格も育ってきた環境も違う方が一緒に生活するので、ご本人らしく生活することができるように必要な支援を考え続けています。

＜グループホーム父の樹＞

尾竹　これまでの経験では、「利用者さん一人ひとりに合わせた信頼関係」が大切だと実感しています。さらに、保護者との信頼関係も重要と思います。

父の樹会のよいところ

鈴木　一人ひとりに支援に対する熱い思いが伝わってきました。続いて、当法人のよいところについて伺いたいのですが、その前に法人が設立された動機などについて皆さん何かご存じでしょうか。

一同　・・・

鈴木　簡単に説明しますと、今年で父の樹会は設立 35 年になります。皆さんが生まれる前に法人化されて、その後少しずつ規模が大きくなって現在に至っています。私たちとして忘れてはいけないのは、設立に関わった千葉大学教育学部附属養護学校（当時、現在は特別支援学校）の在校生及び卒業生の親の会から生まれた法人であることです。親の会の名称は「障害児者の将来を守る父の樹会」です。この「父の樹」の由来は、コーヒーの原産地では、コーヒーの幼木の傍らに「**庇陰樹**」（ひいんじゅ：別名母の樹）が植えられ強い日差しや雨風から幼木を守る役割をします。その幼木を障害児者に例え、障害児者の子育てを母親任せにせず、父親が先頭に立って守っていくとの強い決意から「父の樹会」になったとのこと。当時の親の会の会長さんからその話しを伺い、深い感銘を受けたことを今でも鮮明に覚えています。

同時に、千葉大学教育学部附属特別支援学校に在籍した先生方には、役員や評議員、第三者委員などとして、現在に至るまで当法人を支えていただいており、感謝の限りです。このような歴史と伝統のある法人ですが、皆さんから法人のよいところを聞かせてください。

畔蒜　父の樹会は、利用者さんへの支援が手厚く、保護者との絆がとても強いところだと思います。また、様々な事業形態が有り、それを職員みんなが頑張って支えていると感じています。

荒巻　まず、施設ごとに強みがあることに加えて、資格取得の奨励や研修等のサポートが充実しており、自分を磨く良い環境が整っていることだと思います。

＜おおぞら園＞

長沢　先輩や上司がとても優しく、悩み等があれば仕事もプライベートも含めて相談に乗ってくれますし、的確なアドバイスをしてくれることも励みになっています。

岡本　入所施設をはじめ、生活介護、就労移行、就労Ｂ型、グループホームと多くのサービス種別があるので、仕事の幅が広く希望すれば異動ができますので、経験や知識を深めることができます。また、資格取得の補助や手当が付きますので、働きながら学べることが私にはモチベーションになっています。

圓城寺　いろんなサービス種別があるので、利用者さん一人ひとりにあった生活が可能であることだと思います。

尾竹　やはり父親が主体となって作った法人で、子育てを母親任せにしないところが良いところであり、温かさを感じるとともに、利用者さんが多くの人から愛されているように思います。

父の樹会職員として　１０年後の姿・目標

鈴木　皆さんのお話から、法人のよさというのは長年働いていると少しずつ気付いていくものかなと思いました。私自身も偉大な法人で働かせていただいていると改めて認識させられました。続いて１０年後の自分として、今後の働き方や目標を聞かせてください。

圓城寺　私はこれからも経験を積みながら、先ずは専門資格である「社会福祉士」の取得に挑戦したいと思います。そして、自分の支援力アップにつなげていきたいと思います。

長沢　利用者さんや保護者の方、さらに法人にとって必要だと思ってもらえる支援者になれるよう努めたいと思います。

岡本　長沢さんの目標、とても立派ですね！私は先ずは、さらに経験を積んで、利用者さんやご家族、さらに同僚から信頼してもらえる存在を目指したいです。また、他法人の方とのつながりを増やして、自分自身が成長できるように初心を忘れずに頑張りたいと考えています。

畔蒜　まだまだ未熟ですが、入職した時の初心を忘れず、これから入職する方に憧れてもらえるような存在になりたいと思います。

＜ガーデンセブン＞

荒巻　１０年後は、現場をまとめて引っ張っていくことができる自分になれるよう努めたいと思います。また、周りから頼られる存在になれるよう自己研鑽を続けていきたいです。

尾竹　１２年間、頑張って働いてきましたが、このままではいけないことも実感しています。今後は、責任のある立場の仕事が増えてくるので、親御さんの思いを大切に、自分自身のスキルアップを図り、法人に無くてはならない存在に近付いていきたいと思います。

これから障害福祉で働く方へ

鈴木　皆さんの目標を聞いていると、常に自分を磨き続けたいという福祉専門職としての高い意識を感じ、素晴らしいと思いました。最後になりますが、これから障害福祉で働く方や学生さんへのアドバイスがありましたら一言ずつお願いします。

荒巻　利用者さんの障害特性を捉えることは大切ですが、その方自身を知り、関わっていくことが大切だと思います。相手の好きなことや得意なことを知ることで、楽しく働いていけると思います。何よりも利用者さんの笑顔が自分のエネルギーになると思います。

岡本　私がそうであったように、少しでも福祉の仕事に興味のある方は、施設ボランティア等に挑戦されるといいです。実際に体験してみると、自分の興味がさらに広がると思います。

圓城寺　何よりも親御さんから大切なご家族をお預かりしているという気持ちが大切だと思います。そして、利用者さんは素直な心を持っている方が多いので、話をよく聞き伝えたいことを汲み取り、寄り添っていくことが必要ですね。

畔蒜　最初はだれでも不安が大きいと思いますが、利用者さんはとても温かく迎えてくださるので、心配せず思いきり挑戦してみてください。

長沢　言葉での表現が難しい方もいますが、相手の気持ちを汲み取ろうとする思いが伝われば、必ず利用者さんは応えてくれます。支援者側の理解しようとする姿勢が大切かなと思います。

尾竹　たくさん伝えたいですが、私自身もずっと勉強中です。同じ視点だけではなく、多視点から利用者さんを見て、一緒に学んでいきましょう！新人さんの斬新な視点から気付くなど、私たちも勉強になります！　迷っているなら、是非一歩を踏み出してみてください。

最後に司会者から

鈴木　今回の座談会を終え、当法人の行く末に明るい未来を強く感じられました。なぜなら、参加された若手・中堅の職員一人ひとりが、法人への思いやしっかりとした目標を抱きながら業務に取り組み、それらを具現化しようと日々邁進されています。そして、何よりも利用者さんへの支援を通じて、自分自身が人として成長できるのを実感されています。法人にとって、職員は最大の財産ですので、こうした職員の姿を今日は確認でき、とても頼もしく、嬉しく感じました。虐待や不祥事などが大きく報道され、「福祉職」や「障害者」という言葉には、一般的に余りよくないイメージを持たれがちですが、今後は、子供たちや学生の皆さんが「就職したい職業ランキング」に「福祉の仕事」が上位に入るようなそんな時代が来てほしいと思います。それだけ、素晴らしい仕事である福祉のことを、これからも皆さんと一緒に地道に取り組み、また、伝えていきたいと思います。

支援職員募集！

社会福祉法人父の樹会では、職員を募集中です。経験がなくても大丈夫！悩んでいるならまず一歩を踏み出しましょう。

詳細はホームページをご覧ください。

http://chichinokikai.web.fc2.com

男女共同参画社会の実現 参画推進アンケート結果

父の樹会では、昨年度に女性職員として初めて理事が誕生したことを機に、標記社会の実現に向け、昨年末、職員全員を対象にアンケート調査を実施しました。

これは、男女がお互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、現在の職場環境や仕事に関しての考え方やご意見をいただくものです。

今後はその結果を踏まえ築地事業運営に活かすこととしています。

アンケートの内容は多岐にわたっておりますので、ここではその一端をご紹介します。

＜質問＞現在の仕事に対してやりがいを感じますか。

- 勤務５年未満の方は７９％、勤務１０年未満の方は７０％の方が仕事にやりがいを感じています。
- 年齢が２０代の方は６７％、年齢が３０代の方は７４％の方が仕事にやりがいを感じています。
- 全体では 77%の方が仕事にやりがいを感じています。

この項目においては、いずれも高い水準で仕事に対してやりがいを感じており、今後はどのような場面でやりがいを感じるのか等調査していき、これからの仕事のあり方、キャリア形成についても議論する課題としていきます。

ガーデンセブン利用者の皆さん

― 中村郁夫さん ―

男性利用者最年長で、手工芸班と音楽サークルに所属しています。手工芸では粘土を使ってお皿や器作りをしています。１０年以上手工芸に所属していますので、作るだけでなく新しく入って来た他の利用者のサポートもして下さいます。釉薬や釉抜き材を塗る作業も上手です。陶芸の作品は釜に入れてから焼き上がるまでどんな仕上がりになるか分かりませんので、毎回ドキドキです。

音楽サークルの活動では、カラオケやダンスと音楽関連の内容の他に園芸や調理活動をしています。サークルのメンバーと育てたピーマンで肉詰めを作って食べました。食べるだけでなく、作る工程も積極的に参加されています。

― 池田仲子さん ―

女性利用者最年長です。手工芸班と運動サークルに所属し、オシャレとおしゃべりが大好きです。手工芸では、粘土を使ってお皿を作ったり、使用した布を洗ったりしています。以前は、機織もやっていました。今は粘土の作業が主ですが、時々他の方が機織で使う横糸の巻取作業もしています。指を上手に動かし絡ませることなく綺麗に巻き取っています。

運動サークルでは、散歩や野球、ゲーム等で活動しています。身体を動かすのは得意ではありませんが、毎回意欲的に参加しています。

余暇時間にファッション雑誌を読んでいます。雑誌のページをめくりながらアレがいい、コレがいいとチェックしています。新しい服を購入するとすぐに着て、着心地を確かめています。

新職員紹介

共同生活援助 父の樹

さかもとちづる
坂 本 千鶴さん

令和３年 12 月 21 日から「新たんぽぽ」で勤務しております。趣味でママさんバレーボールをしています。前職を定年退職し、今までと全く違う職種ですが、世話人としての仕事は自分でもできるかな？(料理は不得意ですが…)と思い入職を希望しました。利用者の気持ちを汲み取ることに日々奮闘して、持ち前の明るさで利用者の方が楽しく生活できるように、頑張りたいと思います。

ガーデンセブン

こうざいたつき
香 西 龍樹さん

紙すき作業班・芸術サークル所属。利用者一人ひとりと向き合い、落ち着いて冷静に対応しています。利用者と沢山関わり、できる・できないを見極めてできない部分に寄り添った支援をしていきたいです。利用者の皆さんに丁寧に接していき、楽しく過ごせるように一人ひとりと関わっていきたいです。よろしくお願いします。

編集後記　今号は座談会「福祉職の魅力を語る！」を特集としました。引き続き、参加者のような素敵な人材がこの法人を担っていってくれますように、今後仲間になる新職員がその背中を見て共に育って行ってくれますように願いながら…。